高速道路の真上に眠る縄文の祈り

4,000 年前のストーンサークル「鷲ノ木遺跡」

高速道路の真上に広がる縄文時代のストーンサークル「鷲ノ木遺跡」。発見から 20 年以上が経った今、一般公開に向けた整備が進められています。縄文人が残した祈りの跡と、その保存に込められた人々の思いを紹介します。

発見のドラマ

高速道路建設が見つけた大発見

鷲ノ木遺跡が見つかったのは、高速道路建設に伴う発掘調査がきっかけでした。

2002 年、隣接する遺跡の調査中に法面から遺物が見つかり、その存在が明らかになりました。翌 2003 年には直径約 37 メートルの大きなストーンサークルが発見され、その後の調査で竪穴墓や祭祀に関わる遺構も確認されました。

縄文時代の精神文化を知るうえで貴重な遺跡として、2006 年に国史跡に指定されています。

遺跡を守るために高速道路がトンネル化

鷲ノ木遺跡の保存が決まった際、高速道路は遺跡の直下を通るトンネル方式に変更されました。

貴重な遺跡を守るために道路計画が変更された例は国内でも珍しく、世界でもほとんど例がありません。多くの人の努力によって今日まで保存されています。

遺跡の価値を未来へ伝えたいという地域の思いと関係者の尽力が実を結び、現在の姿が守られています。

どんな場所だったの？

ストーンサークルの周辺からは墓と考えられる土坑や、不思議な形をした土製品が見つかっています。

生活のための場所というよりも、亡くなった人を弔い、祈りや儀式を行う特別な場所だったと考えられています。

イカ形土製品は森町でしか出土していないレアなもの！ SNS 等でも話題になりました。

なぜここに造られたの？

ストーンサークルから東を見ると駒ヶ岳がそびえています。

秋から冬にかけては山頂付近から朝日が昇る姿を見ることができ、縄文人は、駒ヶ岳を望むこの丘に祈りの場を築きたかったのかもしれません。当時の人々にとって駒ヶ岳は、神秘的で特別な存在だったことでしょう。

また、使われた約 600 個の石は 1 キロ離れた桂川河口付近から運ばれたと考えられています。大勢の人々が力を合わせて造り上げた、地域の一大事業だったのでしょう。

ストーンサークルの周辺に広がる遺構・遺物

①環状列石（ストーンサークル）

②7基の土坑が集まる竪穴墓1号

③環状列石に隣接する埋設土器

④竪穴墓2号

⑤重なって検出された竪穴住居址群

⑥下位段丘出土遺物

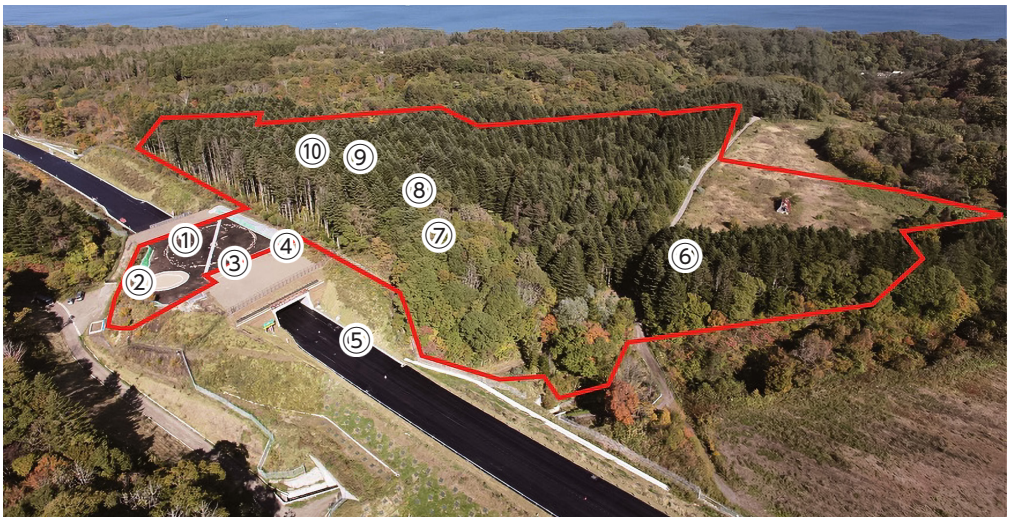
⑦並んで出土した配石遺構

⑦並んで出土した配石遺構

⑧石組炉を持つ竪穴住居址

⑨下位段丘へ下る斜面部の調査

⑩上位段丘出土遺物



遺跡の保存が決まった後もストーンサークル周辺の発掘調査は複数回にわたって行われ、ストーンサークル以外にも配石遺構（写真⑦）と呼ばれる縄文時代の祭祀や儀礼に関わる痕跡や、ストーンサークルが造られる前後の時期の建物の跡などが見つかりました。これらの発掘調査の成果により、2012年9月19日に追加指定を受け80,000㎡を超える広大な範囲（図の枠線内）が史跡となりました。

いよいよ一般公開へ

発見以来、一般公開されてこなかった鷲ノ木遺跡ですが、現在は公開に向けた整備が進んでいます。

ストーンサークル周辺には芝生が張られ、今後は散策路も整備される予定です。縄文人が見た景色や遺跡の魅力を、現地で体感できる場所となります。

令和9年度の一部供用開始を目指しています。

縄文の歴史を身近に感じられる遺跡へ。一般公開に向け整備が進む鷲ノ木遺跡

鷲ノ木遺跡見学会開催

7月から10月にかけて解説付き見学会を開催します。

今年は国史跡指定20周年の節目の年。

例年より少し特別な見学会になると思います。普段は見ることのできない縄文の歴史に触れてみませんか。

開催日など詳しくは町公式ホームページをご確認ください。

申込フォーム　　森町HP

問森町遺跡発掘調査事務所　☎3-2240

※森町遺跡発掘事務所は7月～10月の期間中毎日開館しています。